

患者氏名	〇	様	病名：	前立腺癌	症状：	〇	印	受け持ち看護師：			
月日	1月0日		1月0日		1月1日～		1月3日～		1月7日		
項目	手術前日		手術前（当日）		手術後（当日）		1日目～		3日目～6日目頃	退院日（予定日）	
達成目標	手術の準備ができる				手術後の安静が守れる		血尿が軽減または消失する 痛みが軽減または消失する		自力で排尿ができる		退院後の注意点が理解できる
治療・薬剤（内服）	薬剤師が持参薬を確認します レントゲンがあります 許可が出たお薬は夜まで内服して下さい 21時頃に下剤を2錠内服する時もあります 薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します		朝のお薬は、 （ ） を飲んでください 手術前に点滴をします 経口補水液を摂取する場合や朝一番（9時）の手術の場合は手術室で行います 下剤を内服した21時以降に排便がなかった際は6時頃に浣腸を行います 排便の有無をお知らせください		点滴を行います 手術後指示のある間は酸素マスクをします 生体情報モニタを付けます 足にマッサージする機械をつけます お腹に管が入ってきます 背中から痛み止めの管が入ってきます		痛み止めの点滴がなくなり次第、点滴終了となります 生体情報モニタを外します		おおよその目安ですが 術後3日目頃おなかの管が抜けます 術後5日目頃に膀胱造影検査を行います 検査の結果によって、尿の管が抜けます		
活動・安静度	制限はありません		肺炎予防のため、歯磨きをしてください		ベッド上安静です 		許可が出た後、歩行できます 初回の歩行は看護師が付き添います 歩行ができれば足のマッサージの器械を外します 病棟内の歩行が一人でできるようになったら、弾性ストッキングを脱いでかまいません		背中での痛み止めとお腹の管が抜けた翌日からシャワー浴の許可が出ます		退院後は激しい運動、自転車やバイクなどの乗車は避けてください 次回外来受診までは入浴は控えて、シャワーのみとして下さい その他日常生活の制限はありません 骨盤底筋体操を続けて下さい
食事	21時以降は食べられません お水・お茶は飲めます 特別な栄養管理の必要性 有 文書を用いて管理栄養士が説明します		食事はできません お水は（ ）時まで飲めます		食事はできません 手術4時間後より、問題なければ飲水はできます		昼食からお粥の食事が出ます 問題無ければ、夕食から手術前と同じ食事が出ます こまめに飲水を行ってください		特に制限はありません こまめに飲水を行ってください		特に制限はありません 飲水は控えずにこまめに摂って下さい アルコールは控え、次回の外来受診の際に医師に確認して下さい
排泄	制限はありません 理学療法士より尿漏れ対策についてのリハビリテーションの説明があります（骨盤底筋体操）				尿の管が入ります				尿の管が抜けた後、排尿状態を記入する排尿日誌記録をしてください 尿漏れ状態や、尿漏れ量状態により適切な尿取りパットの準備を看護師より説明します		尿の勢いが弱くないか、残尿感が強くないか確認してください 尿が出ないときには早急に病院を受診するようにしてください 便秘に注意して下さい 
患者様およびご家族への説明	入院・手術・麻酔について説明します 経口補水液について説明します お膳の処置をさせていただきます シャワー浴をして洗髪をしてください 爪の長い方は切ってください 患者様確認のためにIDバンドを装着します 尿漏れに対しての骨盤底筋体操のパンフレットを説明して渡します 手術後に使用する浴衣、尿取りパットをご持参ください。病院でも借用（有料）、購入できます		洗面・歯磨きはできます 指輪・時計・めがね・義歯・コンタクトレンズなどで外せるものは外してください 静脈血栓症予防のために弾性ストッキングをはきます 貴重品の管理は、ご家族でお願いします						退院は、午前10時頃です IDバンドは退院時に看護師がはずします 退院後痛みが強い時、38.5℃以上の高熱が出た時、血尿が薄くならない時、尿が出なくなった時は、外来に電話でご相談ください 退院後のご相談・お問い合わせは、外来看護師が承ります		

注1 場合によっては内容を変更することがあります。
リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します

110005 2026.4.30